



# piagggero

## NP-32 NP-12

### 取扱説明書

ご使用前に必ず4～8ページの「安全上のご注意」をお読みください。

#### **オートパワーオフ機能**

この楽器には、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能(21ページ)が搭載されています。オートパワーオフ機能とは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

# もくじ

はじめに .....	3
◆ 取扱説明書について .....	3
◆ 付属品 .....	3
安全上のご注意 .....	4
各部の名称 .....	10
◆ 上面 .....	10
◆ 背面 .....	11
準備する .....	12
◆ 電源アダプターを使う .....	12
◆ 電池を使う .....	12
音を楽しむ .....	13
◆ 音色を選ぶ .....	13
◆ 音色デモ曲を聞く .....	13
◆ 音色を重ねる (デュアル) .....	14
◆ ピアノデモ曲を聞く .....	15
メトロノームを使う .....	16
◆ メトロノームを再生する .....	16
◆ テンポを変更する .....	16
◆ 拍子を設定する .....	16
◆ 鍵盤を使って設定をする .....	17

演奏を録音する .....	18
◆ 録音曲を消去する .....	18
バックアップと初期化 .....	19
◆ バックアップデータ .....	19
◆ 初期化する .....	19
好みに合わせて設定を変える .....	20
オクターブシフト .....	20
リバーブ深さ .....	20
トランスポーズ .....	20
リバーブタイプ .....	20
チューニング .....	21
タッチ感度 .....	21
設定お知らせ音 .....	21
オートパワーオフ .....	21
困ったときは .....	22
仕様 .....	23
索引 .....	24
保証とアフターサービス .....	25

# はじめに

## ◆ 取扱説明書について

### 電子マニュアル (PDF形式) について

本書以外にも以下の電子マニュアルをご利用できます。

- **iPhone/iPad接続マニュアル**  
iPhone や iPad などのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。
- **コンピューターとつなぐ**  
コンピューターと接続する方法などを説明しています。
- **MIDI リファレンス**  
本機の MIDI に関する資料を掲載しています。

上記のマニュアルはヤマハのウェブサイトでご覧いただけます。以下のサイトにアクセスし、モデル名を入力して検索してください。

ヤマハ ダウンロード <https://download.yamaha.com/jp/>

## イラストについて

- 取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。
- 鍵盤イラストは NP-32 と NP-12 の鍵盤を併記しています。

## 表記について

**注記** 製品の故障や誤動作を防ぐため、守っていただきたいことを示しています。

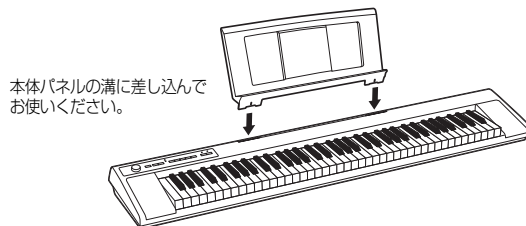


使用時の注意点や補足情報が記載されています。

[ ] 本機のボタンや端子を示しています。

## ◆ 付属品

- 取扱説明書 (本書)
- 電源アダプター
- 保証書
- 製品ユーザー登録のご案内  
ユーザー登録に必要なプロダクトIDが記載されています。
- 譜面立て



# 安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様のご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 電源アダプターについて



### 警告



禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。

電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



### 注意



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 楽器本体について



### 警告

#### 電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(23 ページ)を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが附着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

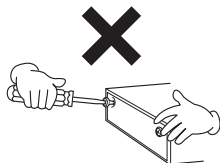
## 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



## 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

## 電池



禁止

電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れない。

破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。

電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



禁止

指定(12 ページ)以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池と一緒に使用したり、新しい電池と古い電池と一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手が届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- 電源コード/プラグがいたんだ場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

## 注意

### 電源 / 電源アダプター



禁止

たこ足配線をしない。

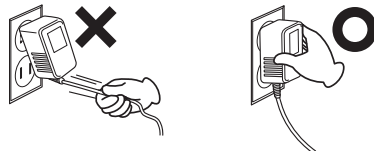
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

### 設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

**この製品を電源コンセントの近くに設置する。**

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

**指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。**

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

## 接続



必ず実行

**すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。**

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

**演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。**

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

**本体のすき間に手や指を入れない。**

お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

**パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。**

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

**本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。**

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

**大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。**

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⓪](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[⓪](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。



## 注記 (ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

### ■ 製品の外観について

製品に線やキズがあるように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品を使用するうえでまったく問題ありません。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

### ■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(19ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。
- 電源を切るときは[Ⓛ](スタンバイ/オン)を押してすべてのランプが消灯してから、電源アダプターを抜いてください。ランプが消灯する前に抜くと、データが失われることがあります。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者

に無断で複製または転用することを禁じられています。

- ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
  - ※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
  - ※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

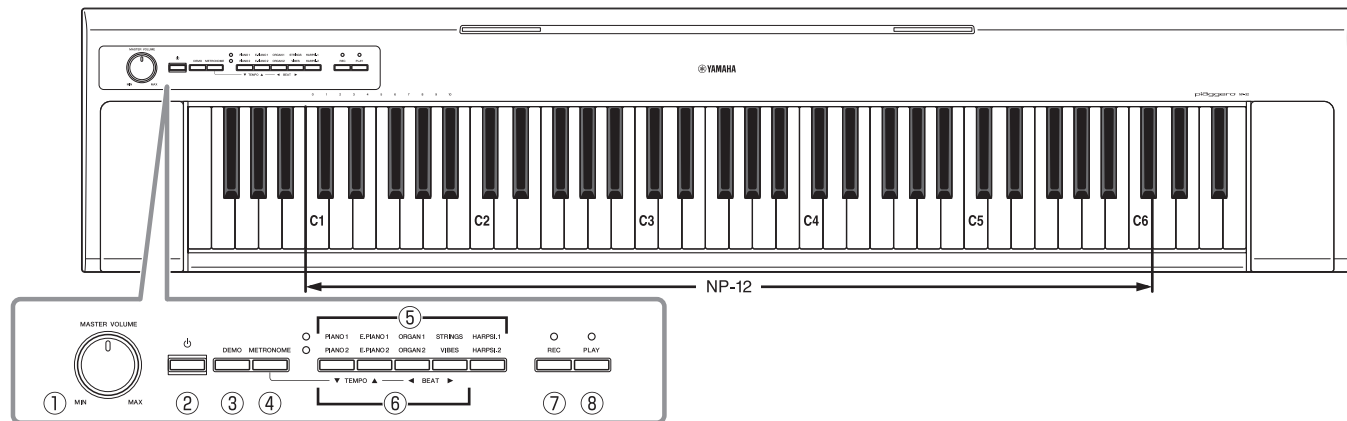
製造番号


(bottom\_ja\_02)

# 各部の名称







## ◆ 上面

\*NP-32のイラストです



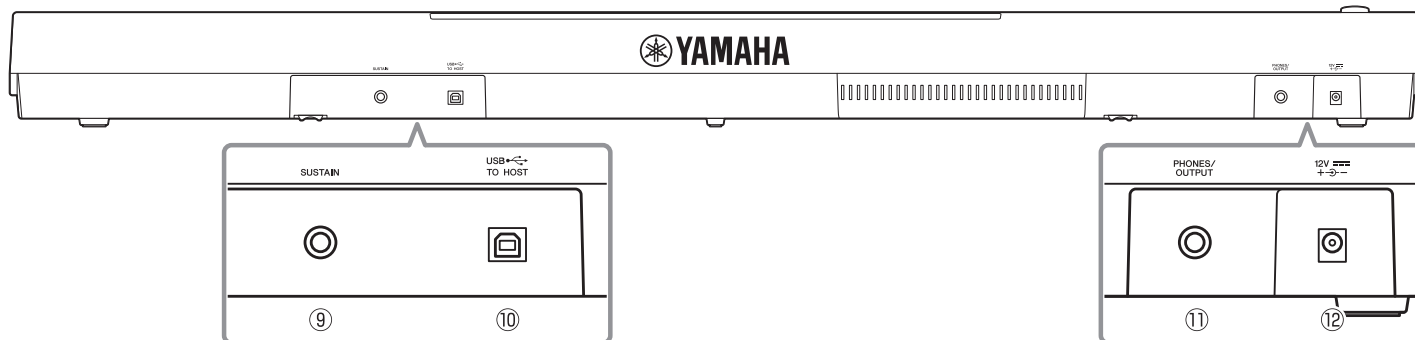
- ① **[MASTER VOLUME]** マスター ボリューム  
音量を調節します。左 [MIN] に回すと音が小さくなり、右 [MAX] に回すと音が大きくなります。
- ② **[ (スタンバイ / オン)]**  
電源のスタンバイ / オンを切り替えます。  
ボタンを押すと [PIANO 1] 横のランプが点灯し、電源が入ります。1 秒ほどボタンを押してから離すと、[PIANO 1] [PIANO 2] 横のランプ点灯後に電源が切れます。音量を最小にしてから電源を入れてください。

**⚠ 注意** 電源を切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、電池を本機から抜いてください。

- ③ **[ DEMO]** … 13 ページ デモ
- ④ **[ METRONOME]** … 16 ページ メトロノーム
- ⑤ **音色ボタン** … 13 ページ
- ⑥ **[ ▼] TEMPO** [ ▲]、**[ ◀] BEAT** [ ▶] … 16 ページ テンポ ヒート
- ⑦ **[REC]** … 18 ページ レコード
- ⑧ **[PLAY]** … 18 ページ プレイ

## ◆ 背面

\*NP-32のイラストです



## ⑨ [SUSTAIN]

別売のフットスイッチやフットペダルを接続します。接続したフットスイッチ/フットペダルを踏むことで音を長く響かせることができます。



- 接続または外すときは電源を切ってください。
- フットスイッチ/フットペダルを踏んだまま電源を入れしないでください。フットスイッチ/フットペダルのオン/オフが逆になることがあります。

## ⑩ [USB TO HOST]

コンピューターやiPhone、iPadなどのスマートデバイスを接続します。詳しくは電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」、「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

**注記** USBケーブルは3メートル未満のABタイプをご使用ください。USB3.0ケーブルはご使用できません。

## ⑪ [PHONES/OUTPUT]

ヘッドフォン(ステレオ標準フォンプラグ)やオーディオ機器を接続します。これらの外部機器を接続すると本機のスピーカーから音が出なくなります。



**注意** オーディオ機器を接続するときは、すべての機器の電源を切り、オーディオ機器の音量を最小にしてから接続してください。感電、または機器損傷のおそれがありますので、電源の入/切は以下の順で行ってください。  
電源を入れる：本機 → 外部機器  
電源を切る：外部機器 → 本機

## ⑫ DC IN端子… 12 ページ

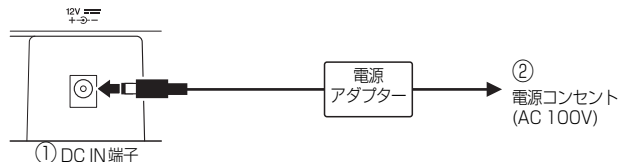
スマートデバイスアプリケーション「Digital Piano Controller」  
専用の無料アプリケーション「Digital Piano Controller」を使うと、iPhone/iPad/iPod touchから楽器を操作できて大変便利です。「Digital Piano Controller」やその他のアプリケーションについては、以下のウェブサイトでご確認ください。  
<http://jp.yamaha.com/kbdapps/>

# 準備する

本機の電源には電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮し、電源アダプターのご使用をおすすめします。

## ◆ 電源アダプターを使う

下図①②の順で電源アダプターを接続します。電源アダプターを外すときは、電源を切り、②①の順で外してください。



**警告** 電源アダプターは、必ず指定のもの(23ページ)をご使用ください。指定以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証できない場合がありますので、十分ご注意ください。

**注意** 本機はコンセントの近くに設置し、異常を感じたらすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### プラグが外れる電源アダプターの場合

**警告**

- 必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金具に触れないように注意して、カチッと音がするまで差し込んでください。感電やショート、故障の原因になりますので、異物が入らないようにご注意ください。



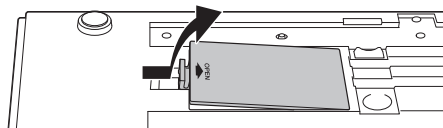
## ◆ 電池を使う

(市販の単3電池6本をご用意ください)

使用できる電池：アルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池(充電電池)、マンガン乾電池

- 大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池、または充電電池のご使用をおすすめします。
- 電源が切れた状態で電池をセットしてください。

1 柔らかい布などの上に本機を裏返して置き、底面の電池カバーを外す。



2 電池カバー横のイラストに向きを合わせ、電池を入れる。

3 電池カバーを閉める。

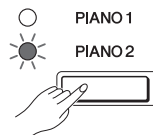
**注記** 電池残量が少なくなると正常に動かなくなることがあります。その場合、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。



- 充電電池は本機で充電できないため、必ず専用の機器で充電してください。
- 電源アダプターを本機に接続すると、電池が入っている状態でもアダプターから電源が供給されます。
- 電池で使用しているときに電源アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。

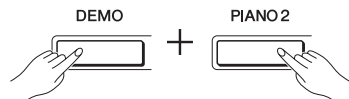
# 音を楽しむ

## ◆ 音色を選ぶ 本機は10種類の楽器音を搭載しており、音色ボタン(10ページ)で選ぶことができます。



音色ボタンを押すたびに上と下の音色が切り替わり、選ばれた音色のランプが点灯します。

## ◆ 音色デモ曲を聞く 本機は音色ごとにデモ曲を搭載しています。



[DEMO]を押したまま音色ボタンを押すと、その音色のデモ曲から順に再生されます。再生中にほかの音色ボタンを押すとデモ曲が切り替わります。再生中に [DEMO] を押すと停止します。



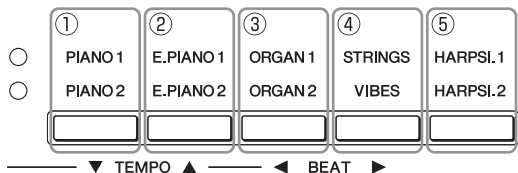
- [DEMO] だけを押すと [PIANO 1] から順にデモ曲が再生されます。
- [METRONOME] を押したまま [▼] または [▲] を押すとテンポが変更され、[▼][▲] を同時に押すと初期設定に戻ります。テンポを数値で入力することもできます。「テンポの数値入力」(17ページ)をご参照ください。

## 音色リスト

音色ボタン	音色名	特長	音色デモ曲
PIANO 1	ピアノ 1	フルコンサートグランドピアノからサンプリングした音です。	オリジナル
PIANO 2	ピアノ 2	柔らかい響きのグランドピアノの音です。	オリジナル
E.PIANO 1	エレクトリックピアノ 1	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。	オリジナル
E.PIANO 2	エレクトリックピアノ 2	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。	オリジナル
ORGAN 1	オルガン 1	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。	オリジナル
ORGAN 2	オルガン 2	パイプオルガンのフルカブラーの音です。	オリジナル
STRINGS	ストリングス	広がりのある弦楽アンサンブルの音です。	オリジナル
VIBES	ビブラフォン	柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。	オリジナル
HARPSI. 1	ハーブシコード 1	バロック音楽でよく使われる鍵盤楽器の音です。	ガボット(J. S. バッハ)
HARPSI. 2	ハーブシコード 2	オクターブ上の音がミックスされたハーブシコードの音です。	インベンション第1番(J. S. バッハ)

「オリジナル」はヤマハのオリジナル曲です(©2015 Yamaha Corporation)。その他のデモ曲は原曲を編集/抜粋したものです。

◆ 音色を重ねる (デュアル) 2つの音色を重ねることができます。



重ねたい音色をあらかじめ選んでおき、2つの音色ボタンを同時に押します。音色ボタンを1つ押すとデュアルは解除されます。

デュアルのとき、左図のグループ番号の小さい音色が第1音色、大きい音色が第2音色となります。同じグループの音色を重ねることはできません。



- ランプは第1音色の状態を表わします。
- デュアルのとき、第1音色のリバertypeが優先されます。

• 第1、第2音色のオクターブを変える (オクターブシフト)

[METRONOME] を押したまま該当する鍵盤 (下図 **A** 参照) を押します。

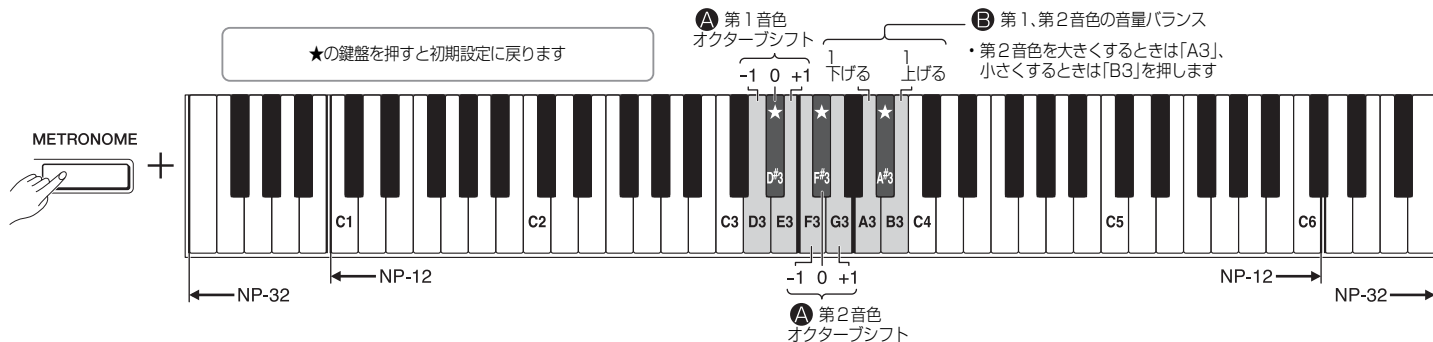
設定範囲 (第1、第2音色) : -1 ~ +1 (初期設定 : 0)

• 第1、第2音色の音量バランスを変える

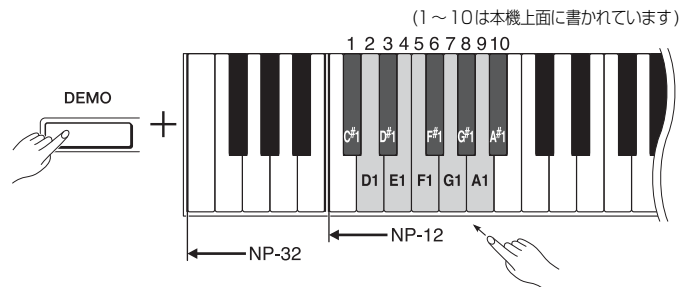
[METRONOME] を押したまま該当する鍵盤 (下図 **B** 参照) を押します。

設定範囲 : -6 ~ +6 (初期設定 (A#3) : 各音色に最適な設定)

	-6	+6
第1音色音量	最小	最大
第2音色音量	最大	最小



## ◆ ピアノデモ曲を聞く 本機は 10 種類のピアノデモ曲を搭載しています。



[DEMO] を押したまま聞きたい曲の番号 (下記参照) に該当する鍵盤を押すと、選んだ曲から順に再生します。再生中に [DEMO] を押すと停止します。



[METRONOME] を押したまま [▼] または [▲] を押すとテンポが変更され、[▼][▲] を同時に押すと初期設定に戻ります。テンポを数値で入力することもできます。「テンポの数値入力」(17 ページ) をご参照ください。

### NP-32 搭載曲

No.	曲名	作曲者
1	メヌエット 長調 BWV.Anh.114	J.S. バッハ
2	トルコ行進曲 (ピアノ ソナタ 第 11 番 K.331 より)	W.A. モーツァルト
3	エリーゼのために	L.v. ベートーヴェン
4	小犬のワルツ	F.F. ショパン
5	トロイメライ	R. シューマン
6	人形の夢と目覚め	T. オースティン
7	アラバスク	J.F. フルグミュラー
8	ユーモレスク	A. ドヴォルザーク
9	エンターティナー	S. ジョブリン
10	亜麻色の髪の乙女	C.A. ドビュッシー

### NP-12 搭載曲

No.	曲名	作曲者
1	インベンション 第 1 番	J.S. バッハ
2	前奏曲 (平均律 第 1 巻 第 1 番)	J.S. バッハ
3	かっこう	L-C. ダカン
4	トルコ行進曲 (ピアノ ソナタ 第 11 番 K.331 より)	W.A. モーツァルト
5	リトル・セレナーデ	J. ハイドン
6	エコセーズ	L.v. ベートーヴェン
7	楽興の時 第 3 番	F.P. シューベルト
8	ワルツ 第 9 番 告別	F.F. ショパン
9	楽しき農夫	R. シューマン
10	貴婦人の乗馬	J.F. フルグミュラー

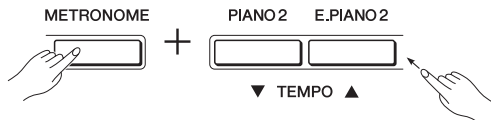
# メトロノームを使う

## ◆ メトロノームを再生する



[METRONOME] を押すとメトロノームが再生され、もう一度押すと停止します。

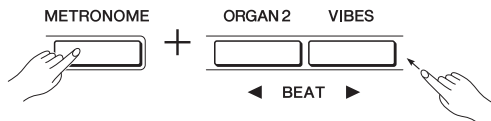
## ◆ テンポを変更する



再生中に [METRONOME] を押したまま [▼] または [▲] を押します。[▼][▲] を同時に押すと初期設定に戻ります。

鍵盤を使ってテンポを数値で入力することもできます (17 ページ 図 A、B 参照)。  
設定範囲：32～280(初期設定：120)

## ◆ 拍子を設定する



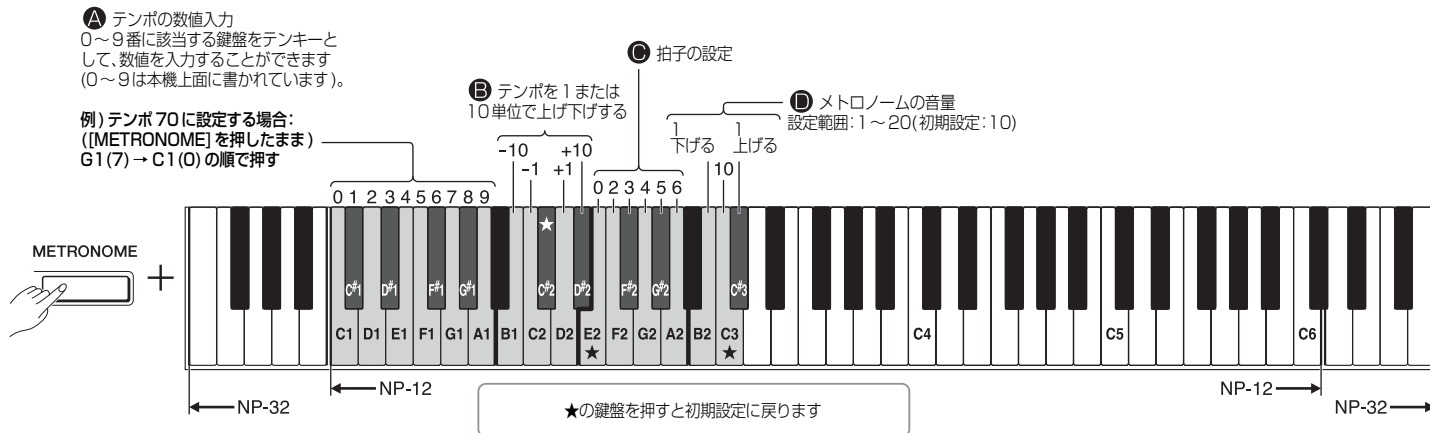
再生中に [METRONOME] を押したまま [◀] または [▶] を押します。[◀][▶] を同時に押すと初期設定に戻ります。

鍵盤を使って設定することもできます (17 ページ 図 C 参照)。  
設定範囲：0(拍子なし：初期設定)、2、3、4、5、6 拍子



## ◆ 鍵盤を使って設定をする

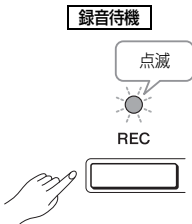
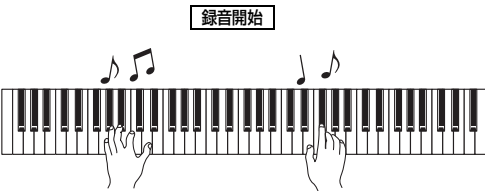
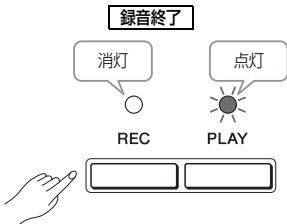

[METRONOME] を押したまま下図で指定の鍵盤を押すと、テンポを数値で入力したり、メトロノームの音量を変更(下図④参照)したりすることができます。



# 演奏を録音する

演奏を1曲録音することができます。録音後の設定変更はできませんので、あらかじめ音色などを設定してから録音してください。

**注記** 録音した曲があるときは[PLAY]ランプが点灯します。[PLAY]ランプ点灯時に録音すると、前に録音された曲は消去されます。

<b>1</b>  <p>録音待機</p> <p>点滅 REC</p>	<b>2</b>  <p>録音開始</p>	<b>3</b>  <p>録音終了</p> <p>消灯 REC</p> <p>点灯 PLAY</p>	<b>4</b>  <p>再生</p> <p>点滅 PLAY</p>
<p>[REC] を押す。</p>	<p>鍵盤を弾く。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>録音中は [REC] ランプが点灯し [PLAY] ランプが点滅します。</li><li>[PLAY] を押しても録音が始まります。</li></ul>	<p>[REC] を押す。</p>	<p>[PLAY] を押す。 もう1度押すと再生停止します。</p>

- 1回で録音できる容量は60キロバイト(約7,000音符)です。容量がいっぱいになると自動的に録音を終了しますが、それまでの演奏は録音されます。
- メトロノームを鳴らしながら録音してもメトロノームの音は録音されません。

## ◆ 録音曲を消去する

<b>1</b>  <p>点滅 REC</p>	<b>2</b>  <p>点滅 PLAY</p>	<b>3</b>  <p>録音曲消去</p> <p>消灯 REC</p> <p>PLAY</p>
<p>[REC] を押す。</p>	<p>[PLAY] を押す。</p>	<p>[REC] を押す。</p>

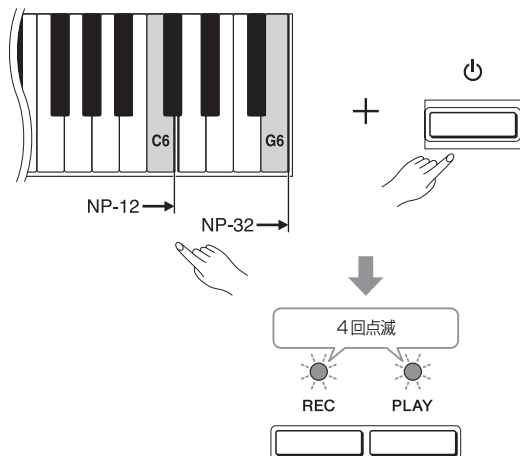
# バックアップと初期化

## ◆ バックアップデータ

以下の項目はバックアップされるため、電源を切っても設定は消えません。

- 録音曲 (18 ページ)
  - オートパワーオフ
  - チューニング
  - タッチ感度
  - 設定お知らせ音
  - メトロノーム拍子 / 音量 (16、17 ページ)
- (21 ページ)

## ◆ 初期化する



右端の鍵盤を押したまま電源を入れる。

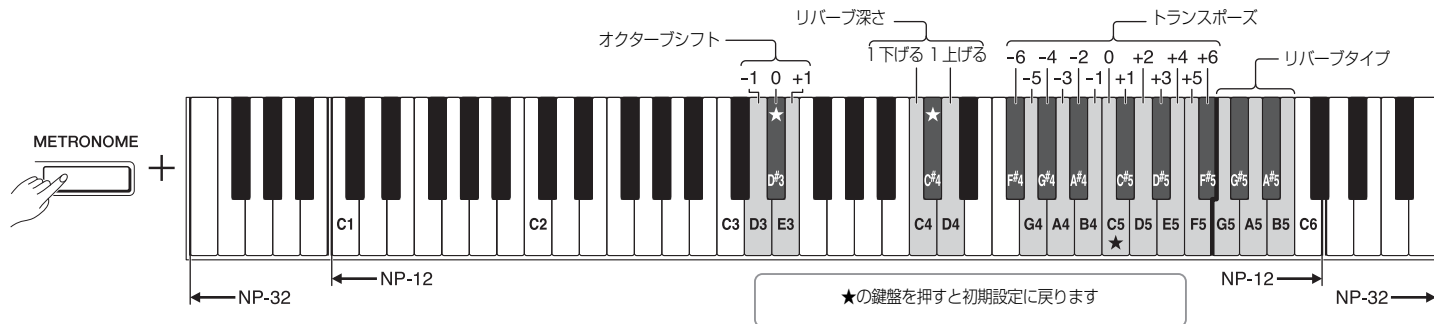
バックアップデータの設定が消えて工場出荷時の状態に戻ります (初期化)。





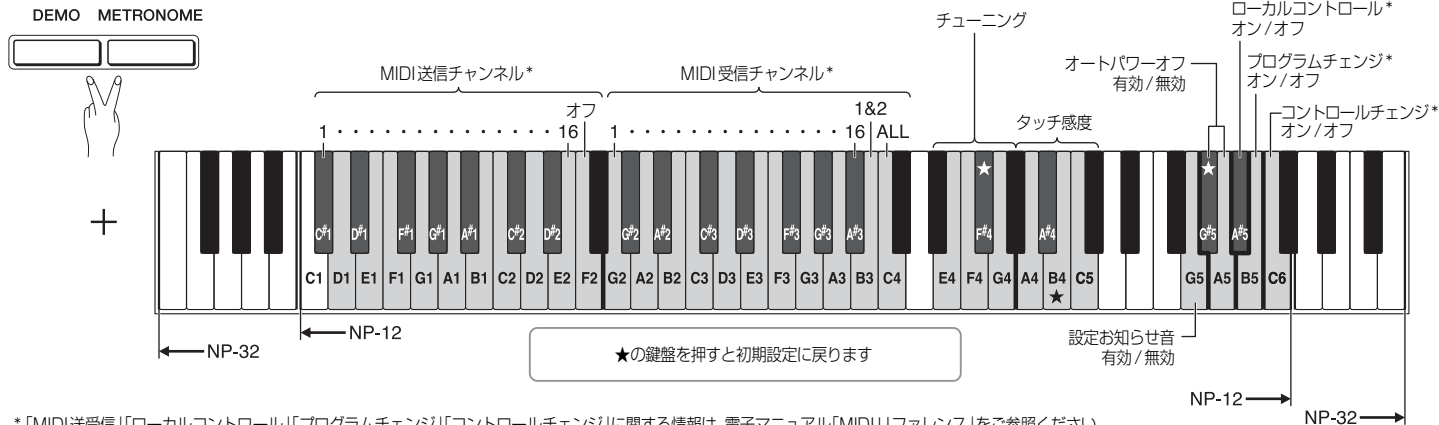
本機が誤動作したときは、電源を切り初期化を行なってください。

# 好みに合わせて設定を変える

ボタンを押したまま指定の鍵盤を押すと、いろいろな設定ができます。設定を変更すると「設定お知らせ音」(21 ページ)が完了をお知らせします。



項目	説明	鍵盤	内容
オクターブシフト	オクターブを変更します。 設定範囲: -1 ~ +1  デュアルのときのオクターブシフトは 14 ページをご参照ください。	D3	-1
		D#3	0(初期設定)
		E3	+1
リバーブ深さ	リバーブのかかり具合を調節します。 設定範囲: 0 ~ 10	C4	1 下げる
		C#4	音色に最適な深さ(初期設定)
		D4	1 上げる
トランスポーズ	半音単位で移調します。 例)「+5」に設定したとき「ド(C)」を弾くと「ファ(F)」の音が出ます(八長調→へ長調)。 設定範囲: -6 ~ +6	F#4 ~ B4	キーを下げる
		C5	0(初期設定)
		C#5 ~ F#5	キーを上げる
リバーブタイプ	リバーブ(残響効果)のタイプを変更します。  リバーブタイプはあらかじめ音色ごとに設定されています。	G5	ルーム: 小さな部屋のリバーブ
		G#5	ホール 1: 小さなコンサートホールのリバーブ
		A5	ホール 2: 大きなコンサートホールのリバーブ
		A#5	ステージ: ステージ上のリバーブ
		B5	オフ: リバーブなし



\*「MIDI送受信」「ローカルコントロール」「プログラムチェンジ」「コントロールチェンジ」に関する情報は、電子マニュアル「MIDIリファレンス」をご参照ください。

項目	説明	鍵盤	内容
チューニング	音の高さを微調整します。 設定範囲: 414.8Hz ~ 466.8Hz	E4	0.2Hz 下げる
		F4	0.2Hz 上げる
		F#4	440.0Hz(初期設定)
		G4	442.0Hz
タッチ感度	鍵盤を弾く強さに対して鳴る音の強弱を設定します。鍵盤の重さは変わりません。 オルガン1、2とハーブシコード1、2ではタッチによる強弱はつきません。	A4	フィックス(固定): タッチによる強弱はつかない
		A#4	ソフト: 軽いタッチで強い音が出る
		B4	ミディアム: 標準的なタッチ(初期設定)
		C5	ハード: 強いタッチで弾くと強い音が出る
設定お知らせ音	ボタンと鍵盤を使って設定を変更したときに、3種類の音で設定完了を知らせます。 上昇音: 設定をオンにしたとき 下降音: 設定をオフにしたとき クリック音: 設定を変更したとき	G5	有効(初期設定)/ 無効を切り替える
オートパワーオフ	何も操作しない状態で30分続くと自動的に電源が切れます。 電源が切れた状態で左端の鍵盤を押したまま電源を入れても、オートパワーオフが無効になります。	G#5	有効(初期設定)
		A5	無効

# 困ったときは

症状	原因	対策
電源を入れたとき、または切ったときに「カチッ」や「ポツッ」と音がする。	電気が流れたため、異常ではありません。	—
電源が入らない。	電源アダプターを正しく接続していない。 電池が入っていない、または消耗している。	電源アダプターをDC IN端子とコンセントに確実に差し込んでください(12 ページ)。 または、新しい乾電池か充電済みの充電電池をご使用ください(12 ページ)。
電源が突然切れる。	オートパワーオフが働いたため、故障ではありません(21 ページ)。	—
[O](スタンバイ/オン)を押して電源を入れてもすぐに切れる。	故障ではありません。指定以外の電源アダプターを使用すると、電源を入れてもすぐに切れる場合があります。	—
本機から雑音が出る。	本機の近くで携帯電話を使用している。	携帯電話の電源を切るか、本機から離れてご使用ください。
	電池が消耗している。	新しい乾電池か充電済みの充電電池、または電源アダプターをご使用ください(12 ページ)。
音が小さい、またはまったく音が出ない。	音量が下がっている。	音量を上げてください(10 ページ)。
	[PHONES/OUTPUT]にヘッドフォン、または変換アダプターが接続されている。	ヘッドフォン、または変換アダプターを抜いてください(11 ページ)。
	ローカルコントロールがオフになっている。	ローカルコントロールをオンにしてください。(→電子マニュアル「MIDIリファレンス」)
	電池が消耗している。	新しい乾電池か充電済みの充電電池、または電源アダプターをご使用ください(12 ページ)。
音がひずむ。	マンガン乾電池を使用している。	アルカリ乾電池や充電電池、または電源アダプターを使用する(12 ページ)か、音量を下げてください(10 ページ)。
ピアノ音色の音の高さ、音質が特定の音域でおかしい。	ピアノ音のサンプリングシステムによるもので、故障ではありません。	—
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグを[SUSTAIN]に正しく接続していない。	ペダルコードのプラグを確実に差し込んでください(11 ページ)。
フットスイッチ/フットペダルのオン/オフが逆になった。	フットスイッチ/フットペダルを踏んだまま電源を入れた。	電源を切り、フットスイッチ/フットペダルを踏まずに電源を入れ直してください(11 ページ)。
iPhone/iPad/iPod touchのアプリケーションを本機と一緒に使用すると、本機から雑音が出る。	—	iPhone/iPad/iPod touchの機内モードをオンにしてご使用ください。

# 仕様

項目			NP-32(電子キーボード)	NP-12(電子キーボード)
サイズ/質量	寸法	幅 × 奥行 × 高さ	1,244mm × 259mm × 105mm	1,036mm × 259mm × 105mm
	質量		5.7kg	4.5kg
鍵盤	鍵盤数		76(E0～G6)	61(C1～C6)
	鍵盤種		ボックス型(グレードソフトタッチ)	ボックス型
	タッチ感度		ハード/ミディアム/ソフト/フィックス	ハード/ミディアム/ソフト/フィックス
音源/音色	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング	AWMステレオサンプリング
	発音数	最大同時発音数	64	64
	プリセット	音色数	10	10
効果	タイプ	リバーブ	4種類	4種類
	ファンクション	デュアル	○	○
録音/再生 (MIDIのみ、オーディオ非対応)	プリセット	内蔵曲数	10音色デモ+ 10ピアノ曲	10音色デモ+ 10ピアノ曲
	録音	曲数	1	1
ファンクション	全体設定	データ容量	約 7,000 音符	約 7,000 音符
		メトロノーム	○	○
		テンポ	32～280	32～280
		トランスポーズ	-6～0～+6	-6～0～+6
接続端子	接続端子	チューニング	414.8Hz～440.0Hz～466.8Hz	414.8Hz～440.0Hz～466.8Hz
		SUSTAIN	サステイン × 1(ハーフペダル対応)	サステイン × 1(ハーフペダル対応)
		USB TO HOST	USB TO HOST × 1	USB TO HOST × 1
		PHONES/OUTPUT	ヘッドフォン/外部出力 × 1	ヘッドフォン/外部出力 × 1
アンプ/ スピーカー	アンプ出力		6W+6W	2.5W+2.5W
	スピーカー		(12cm × 6cm) × 2	(12cm × 6cm) × 2
電源部	電源	電源アダプター	PA-150B(またはヤマハ推奨の同等品)	PA-3C(またはヤマハ推奨の同等品)
		電池	単3(1.5V)アルカリ乾電池/マンガン乾電池 × 6本 または単3(1.2V)ニッケル水素電池(充電式) × 6本 アルカリ乾電池で約 7 時間	単3(1.5V)アルカリ乾電池/マンガン乾電池 × 6本 または単3(1.2V)ニッケル水素電池(充電式) × 6本 アルカリ乾電池で約 14 時間
	電池寿命			
	消費電力		1.8W(PA-150B 使用時)	8W(PA-3C 使用時)
	オートパワーオフ		○	○
付属品			<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書(本書)</li> <li>電源アダプター(PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品)</li> <li>保証書</li> <li>製品ユーザー登録のご案内</li> <li>譜面立て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書(本書)</li> <li>電源アダプター(PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)</li> <li>保証書</li> <li>製品ユーザー登録のご案内</li> <li>譜面立て</li> </ul>
別売品			<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトケース(SCC-54A)</li> <li>キーボードスタンド(L-2L/L-2C)</li> <li>ヘッドフォン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)</li> <li>フットペダル(FC3A)</li> <li>フットスイッチ(FC4A/FC5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトケース(SCC-55)</li> <li>キーボードスタンド(L-2L/L-2C)</li> <li>ヘッドフォン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)</li> <li>フットペダル(FC3A)</li> <li>フットスイッチ(FC4A/FC5)</li> </ul>

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# 索引

## M

[MASTER VOLUME](マスターボリューム) ダイアル ..... 10

## オ

オートパワーオフ ..... 21

オクターブシフト ..... 20

音色デモ曲 ..... 13

音色ボタン ..... 10, 13

音色リスト ..... 13

## コ

困ったときは ..... 22

コントロールチェンジ ..... 21

## シ

仕様 ..... 23

上面 ..... 10

初期化 ..... 19

## ス

スマートデバイスアプリケーション [Digital Piano Controller  
(デジタルピアノコントローラー)] ..... 11

## セ

設定お知らせ音 ..... 21

## タ

タッチ感度 ..... 21

## チ

チューニング ..... 21

## テ

デュアル ..... 14

電源アダプター ..... 12

電子マニュアル (PDF 形式) ..... 3

電池 ..... 12

テンポ ..... 16

## ト

トランスポーズ ..... 20

## ハ

背面 ..... 11

バックアップ ..... 19

## ヒ

ピアノデモ曲 ..... 15

拍子 ..... 16

## フ

付属品 ..... 3

譜面立て ..... 3

プログラムチェンジ ..... 21

## メ

メトロノーム ..... 16, 17

## リ

リバーブタイプ ..... 20

リバーブ深さ ..... 20

## ロ

ローカルコントロール ..... 21

録音 ..... 18

録音曲の消去 ..... 18



# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

## ● 保証書

本製品には保証書が付いています。  
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類（領収書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

## ● 保証期間

保証書をご覧ください。

## ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例  
ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

## ● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。  
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

## ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## 修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



0570-012-808

※ 固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。  
上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付  
FAX

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)  
東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125  
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

## 修理品お持込み窓口

受付: 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F FAX 06-6649-9340

\*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

### キーボードの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

#### お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



**0570-006-808**

※ 固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-5272 へおかけください。

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>

### ウェブサイトのご案内

- ヤマハ株式会社のホームページ <https://jp.yamaha.com/>
- ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト <https://jp.yamaha.com/kbd/>
- ヤマハ サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>
- ヤマハミュージックデータショップ <https://yamahamusicdata.jp/>

### ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

\*都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などに変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



# ヤマハ株式会社



ZR87770

Manual Development Department  
© 2015 Yamaha Corporation  
2021年12月 発行 ALTY-B0

VFV0510